

イベントゾーン整備の基本方針

<趣 旨>

イベントゾーンは、本市が所有している都心部に残された最後の大規模空間である。姫路駅周辺の整備が進み、新たに東西の街並みが順次形成されつつある中、イベントゾーンの整備を、各ゾーンとの連携、役割分担を明確にした上で、これに同期させ行うことは、都心部での回遊性を向上させ、中心市街地の一層の活性化に資するとともに、本市の「播磨の中核拠点都市」としての魅力内外に発信し、更なる発展に大きく寄与するものである。

1 イベントゾーンの概要 ……(参考資料 P.1)

- (1) イベントゾーンの位置、用途地域等
- (2) イベントゾーンの特性
- (3) 各種計画における位置づけ
 - ① 姫路市総合計画
 - ② 姫路市都心部まちづくり構想

2 これまでの経緯 ……(参考資料 P.3)

- ・平成 23 年 3 月：整備イメージの公表
- ・平成 23 年 8 月：「イベントゾーン基本計画検討懇話会」を設置し、イベントゾーン整備の方向性等について、2 回の懇話会において検討
- ・平成 25 年 1 月：整備の前提となる諸条件の変化により、「中間とりまとめ」を作成して懇話会を一時休止
- ・平成 25 年度：「都市政策上の必要性」や「施設の機能、規模」等について、庁内検討を実施

3 基本方針

- (1) イベントゾーンが担うべき役割
イベントゾーン = 「交流と創造のうるおい広場」
 - ・知と文化・産業の交流拠点機能
 - ・市民の創造活動支援機能

※ エントランスゾーン = 播磨の中核都市にふさわしい都市の顔
 ※ コアゾーン = 新たな高次都市機能が集積する商業・業務拠点

(2) 整備コンセプト ……(参考資料 P.7)

「知と文化・産業の交流拠点」

<重視する視点>

- ① 整備コンセプトとの整合
- ② 都市の成長戦略としての MICE に対応 (※注1)
- ③ 中心市街地活性化への貢献
- ④ 姫路スタイル・コンパクトシティの視点
- ⑤ ファシリティマネジメントの視点 (※注2) (施設のスクラップ&ビルド、効率的な計画、管理、運営)

(3) 導入機能

- ① 幅広い世代の市民や国内外の人々が集う多様な 文化・交流活動の拠点機能
- ② 先端技術をはじめとする学術研究や新技術などの 展示機能
- ③ 国際的、広域的な情報交流を促進する コンベンション機能
- ④ 市民の自発的な 創造・交流活動を支援する機能
- ⑤ 高等教育や産業支援の拠点となる 高等教育・研究機能

(4) ゾーニング ……(参考資料 P.9)

- ① 国際交流・研究集会・コンベンションゾーン
- ② 交通円滑化支援ゾーン
- ③ 交流広場ゾーン
- ④ 高等教育・研究ゾーン

(5) 望ましい施設(案) (国際交流・研究集会・コンベンションゾーン) ……(参考資料 P.10)

イベントゾーンが担うべき役割、重視する視点、導入機能から、設置が望ましい施設は、都心部での立地や各種施設を一ヶ所に設置できるメリットを最大限に活かし、コアゾーンや周辺施設との機能分担のもと、各施設の特徴、機能を用途に合わせ、有機的に連携活用できる「高度都市機能対応 多機能連携型施設群」とする。

- ① 文化・交流施設(ホール)：大ホール、中ホール、小ホール、リハーサル室
- ② コンベンション施設(展示場)
- ③ コンベンション施設(会議室)
- ④ 産業支援施設
- ⑤ 文化・交流施設(市民活動)：音楽演劇練習場(スタジオ、クラブ室)

4 課題

- ・ニーズ・シーズの計量化の精査
- ・高等教育・研究機能との連携
- ・産業支援機能の具体化
- ・防災、環境等への配慮
- ・配置計画、動線計画の検討
- ・事業手法、事業費の精査
- ・持続可能な管理運営手法の導入
- ・姫路城周辺や手柄山中央公園の検討状況との整合 等

5 スケジュール

	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
庁内検討	[Blue arrow pointing right from start of 25th year]				
基本計画策定		[Green arrow pointing right from start of 26th year]			
基本・実施設計			[Yellow bars from start of 27th year to end of 28th year]		
施設整備				[Red bars from start of 28th year to end of 29th year]	
イベントゾーン 基本計画検討懇話会		[Orange arrow pointing right from start of 26th year]			

※注1 「MICE」(マイス)とは、企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

※注2 「ファシリティマネジメント」(FM = Facility Management)とは、サービスの向上に努めながらも、出来る限り少ない経費で最適な施設の経営管理を行う手法であり、施設全体を対象とした「総合的視野」や、将来の変化にも対応し得る「長期的視野」に立ち、「経営的視点」から企画・管理・活用することが大きな特徴である。近年、人口減少や自治体合併により供給過剰となった施設の総量を整理するため、新たに FM に取り組む自治体が増加している。